

# 組合員の「声」をもとに不断の自己改革を实践

## 「JAの自己改革に関する組合員調査」結果概要

JAグループの  
役職員が **約606万人**を訪問

（「JAの自己改革に関する組合員調査」で  
本年5月までに調査対象とした組合員数）

**約390万人**から回答

回答率 全体：64.4%  
（正組合員：70.3% 准組合員：58.1%）

### 自己改革への評価

期待度 **約7~8割**が「期待している」

満足度 **約6割**が「満足」

改善度 **約8割**が「改善した」・  
「もともと良い」

JAの必要性 **約9割**が「必要な存在だと感じる」

総合事業の継続 **約9割**が「総合事業を継続するべき」

農業や地域づくりの応援 **約9割**が「応援したいと思う」

「JAの自己改革に関する組合員調査」の実施にあたっては、JA役職員が組合員の方と**可能な限り直接お会いして、各JAの自己改革の取り組み内容をご説明し、ご意見を伺いました。**

最終的には、**3,902,603人の組合員からご回答をいただきました。**

いただいたご意見については、JAごとにとりまとめ、対応方向を検討し、今後の取り組みに活かしていきます。

また、JAでは、本調査でいただいたご意見も含め、組合員の「声」を、事業や活動に反映し、自己改革をこれからもすすめていくため、組合員との対話を重視しています。

具体的には、**組合長をはじめとする常勤役員らによる担い手への訪問とその声を活かしたJA運営（事例：JAおやま、JA福島さくら）や、准組合員モニターによる声を聞く取り組み（事例：JA北河内）**などを実施しています。

### 【調査概要】

1. 実施期間：平成30年12月～令和元年12月
2. 調査対象者：原則として、全ての正・准組合員
3. 調査手法：原則として、JA役職員の訪問・対面での実施

## 「JAの自己改革に関する組合員調査」を通じた組合員との対話

「JAの自己改革に関する組合員調査」では、JAの役職員が組合員宅を訪問したり、集落座談会の場を活用するなど、可能な限り組合員に直接お会いして、自己改革の取り組みをご説明し、ご意見を伺いました。



1年で3回にもものぼる全戸訪問活動の取り組み  
（岐阜県 JAぎふ）



准組合員を含めて直接会うことを徹底した全組合員訪問活動  
（静岡県 JAなんすん）

# 役員らによる担い手への訪問とその声を活かしたJA運営

## 栃木県 JAおやま

JAおやまでは、今後の事業運営に向けて、組合員の意見を聞くことを目的とし、組合長を含む常勤役員らが、担い手農家に戸別訪問を行いました。

経営の現状と課題や政策転換内容の意見交換をし、JAへの意見や要望などを話し合うことで、担い手の声を経営に反映させています。



## 福島県 JA福島さくら

JA福島さくらでは、オリジナルのバッジを作成のうえ、全戸訪問により調査を行いました。



訪問活動を通じていただいた意見・要望については、JA運営に活かしているほか、広報誌においてその対応を明らかにしました。

組合員の声をもとに、更なる自己改革に取り組み、より多くの方に「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を実感していただくことを目指しています。

**担い手からの意見・要望 & JAの対応**

- 営農関係**
  - Q: 平成31年度購入牧草の届き遅延が続き、飼料確保が難しくなっています。JAの対応をお願いします。
  - A: 届き遅延の原因を調査し、今後の対応策を協議します。
  - Q: 農産物の発生が得意と比べて多くなっています。JAの対応をお願いします。
  - A: 発生量の多い農産物の販売先を確保し、JAの対応策を協議します。
  - Q: JAにリンク牧場を運営したいのですが、ノウハウが足りません。JAのサポートをお願いします。
  - A: 経験豊富な職員が現場でサポートし、ノウハウを伝えます。
  - Q: 行政との調整が必要ですが、JAのサポートをお願いします。
  - A: 行政との調整をサポートし、JAの対応策を協議します。
- 融資関係**
  - Q: 希望される融資は、個人事業主が融資を受けられないです。JAの対応をお願いします。
  - A: 希望される融資の条件を調査し、JAの対応策を協議します。
  - Q: 7の融資は、JAの対応をお願いします。
  - A: 7の融資の条件を調査し、JAの対応策を協議します。
  - Q: 担い手支援策の推進（田舎又農コンプレックス）の推進をお願いします。
  - A: 担い手支援策の推進をサポートし、JAの対応策を協議します。
- その他**
  - Q: 長崎中間管理事業を活用し、JAの対応をお願いします。
  - A: 長崎中間管理事業の活用をサポートし、JAの対応策を協議します。
  - Q: 行政・双葉農業団体の活用をお願いします。
  - A: 行政・双葉農業団体の活用をサポートし、JAの対応策を協議します。
  - Q: 玉ねぎの活性化にJAの対応をお願いします。
  - A: 玉ねぎの活性化をサポートし、JAの対応策を協議します。
  - Q: 所産品は、JAの対応をお願いします。
  - A: 所産品の販売をサポートし、JAの対応策を協議します。
  - Q: 子育て世代の担い手育成をお願いします。
  - A: 子育て世代の担い手育成をサポートし、JAの対応策を協議します。
  - Q: 担い手支援策の推進（田舎又農コンプレックス）の推進をお願いします。
  - A: 担い手支援策の推進をサポートし、JAの対応策を協議します。

# 准組合員モニターにより准組合員の声を運営に反映

## 大阪府 JA北河内

JA北河内では、多様化する組合員ニーズに応える仕組みの一つとして、准組合員を対象に事業や活動に対する、さまざまな意見や要望を聞き取る「准組合員モニター制度」を導入しています。

准組合員モニターの方からいただいた意見は、JAの運営に反映し、進捗を報告しています。



**変わる! JA**  
~組合員の声をカタチに~

このコーナーでは、これまでの「准組合員モニター」において、モニターの方からいただいた意見・ご要望等に対するJAの進捗・改善状況について報告します。

- 皆さんの声**

支店よりには、参加できるイベント事業を載せてほしい、写真が不鮮明で見づらい……
- JAの取り組み**

皆さんがいただいたご意見について、広報担当の会議で共有を行いました。また写真の撮影方法で、見やすくする取り組みについて検討を実施しました。今後も、読んでいただいた方に親しみを持ってもらえる、支店より制作に努めます。